



## 平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年2月9日

上場会社名 株式会社 帝国電機製作所  
コード番号 6333 URL <http://www.teikokudenki.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 宮地 國雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員総務本部長 (氏名) 中村 嘉治

TEL 0791-75-4160

四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	15,471	12.8	1,822	58.5	1,946	56.9	1,271	38.3
29年3月期第3四半期	13,712	10.6	1,149	30.9	1,240	28.4	919	21.2

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 1,524百万円 (739.4%) 29年3月期第3四半期 181百万円 (81.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	63.11	
29年3月期第3四半期	45.09	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	32,975	25,386	76.7	1,280.80
29年3月期	33,037	24,786	75.0	1,215.80

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 25,303百万円 29年3月期 24,786百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		7.00		8.00	15.00
30年3月期		8.00			
30年3月期(予想)				8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,333	5.5	2,304	34.6	2,371	33.6	1,527	22.0	76.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	20,400,138 株	29年3月期	20,400,138 株
期末自己株式数	30年3月期3Q	579,138 株	29年3月期	12,838 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	20,151,242 株	29年3月期3Q	20,387,368 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、添付資料3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動) .....	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7
(セグメント情報等) .....	8
3. 補足情報 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国では、良好な雇用環境と企業業績に支えられ、個人消費・設備投資ともに堅調に推移しており、景気回復が続いております。欧州においても、企業の生産・輸出拡大が続き、設備投資需要が高まる等、景気回復が続いております。また、中国では、金融・財政の引き締め等による影響はあるものの、個人消費の回復が下支えとなって安定成長が続く等、世界経済全体としては緩やかな回復が続いております。

わが国経済は、好調な企業業績によって設備投資の拡大基調が続く、さらに雇用環境の改善、個人消費の持ち直し等、景気は緩やかな回復が続いております。

このような状況の中で、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は、ポンプ事業は国内市場においては、当社の主力顧客である石油化学メーカーが、好調な業績を背景に設備更新を進めていることから堅調に推移しており、海外市場においては、米国市場では前期の受注不振の影響等があったものの持ち直しの兆しがあり、中国市場においても売上が回復基調であることから全体としては堅調に推移いたしました。一方、電子部品事業の売上は減少いたしました。

これらの結果、グループ全体として売上高は154億71百万円（前年同期比12.8%増）となりました。

利益面につきましては、当連結会計年度より連結子会社となったHydrodyne(India)Pvt.Ltd. 社ののれん償却等により販売費及び一般管理費が増加したものの、売上の増加並びに粗利率の改善等により、営業利益は18億22百万円（同58.5%増）となり、為替差益72百万円の発生等により、経常利益は19億46百万円（同56.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は12億71百万円（同38.3%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

## ① ポンプ事業

ポンプ事業は、国内市場では、電力関連機器モータポンプ等が減少したものの、ケミカル機器モータポンプ、定量注入機器ポンプ等が増加いたしました。中国市場では、ケミカル機器モータポンプ、電力関連機器モータポンプ等が増加いたしました。また米国市場では、前期の受注不振の影響からケミカル機器モータポンプが減少したものの、冷凍・空調機器モータポンプ等が増加いたしました。

その結果、売上高は135億52百万円（前年同期比16.0%増）、連結売上高に占める割合は87.6%となりました。

また、営業利益は、Hydrodyne(India)Pvt.Ltd. 社ののれん償却等の費用が増加したものの、売上の増加並びに粗利率の改善等により、16億4百万円（同58.4%増）となりました。

## ② 電子部品事業

電子部品事業は、売上高は15億60百万円（前年同期比8.0%減）、連結売上高に占める割合は10.1%となりました。

また、営業利益は、粗利率の改善等により、1億45百万円（同49.3%増）となりました。

## ③ その他

その他は、売上高は3億58百万円（前年同期比6.9%増）、連結売上高に占める割合は2.3%となりました。

また、営業利益は、売上の増加並びに粗利率の改善等により、71百万円（同85.5%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は204億29百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億35百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が14億45百万円減少したことによるものであります。固定資産は125億46百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億73百万円増加いたしました。これは主にのれんが7億66百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、329億75百万円となり、前連結会計年度末に比べ61百万円減少いたしました。

## (負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は56億39百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億74百万円減少いたしました。これは主にその他が8億35百万円減少したことによるものであります。固定負債は19億49百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億13百万円増加いたしました。

この結果、負債合計は、75億88百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億61百万円減少いたしました。

## (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は253億86百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億99百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が9億48百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は76.7%（前連結会計年度末は75.0%）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年11月10日に公表いたしました「平成30年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想値と実績値との差異及び平成30年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,256,363	7,811,064
受取手形及び売掛金	7,319,867	7,723,302
製品	1,002,009	1,071,087
仕掛品	1,964,771	2,014,949
原材料及び貯蔵品	1,116,945	1,179,867
その他	1,058,855	909,052
貸倒引当金	△254,596	△280,128
流動資産合計	21,464,216	20,429,194
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,015,408	4,956,032
その他（純額）	4,127,388	4,000,251
有形固定資産合計	9,142,797	8,956,283
無形固定資産		
のれん	—	766,239
その他	436,057	410,942
無形固定資産合計	436,057	1,177,182
投資その他の資産	1,994,137	2,413,037
固定資産合計	11,572,991	12,546,503
資産合計	33,037,208	32,975,697
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,237,914	2,217,743
短期借入金	502,547	452,820
未払法人税等	223,493	472,933
製品保証引当金	17,338	19,146
賞与引当金	450,953	230,595
その他	3,081,985	2,246,458
流動負債合計	6,514,232	5,639,696
固定負債		
長期借入金	—	123,900
退職給付に係る負債	1,036,778	1,039,656
その他	699,281	785,712
固定負債合計	1,736,059	1,949,268
負債合計	8,250,292	7,588,965
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,118,118	3,118,118
資本剰余金	3,306,347	3,306,347
利益剰余金	17,183,663	18,131,913
自己株式	△9,803	△704,542
株主資本合計	23,598,326	23,851,836
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	556,974	836,440
為替換算調整勘定	706,555	667,438
退職給付に係る調整累計額	△74,941	△52,485
その他の包括利益累計額合計	1,188,589	1,451,392
非支配株主持分	—	83,502
純資産合計	24,786,915	25,386,731
負債純資産合計	33,037,208	32,975,697

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	13,712,302	15,471,208
売上原価	8,650,500	9,312,957
売上総利益	5,061,802	6,158,250
販売費及び一般管理費	3,912,293	4,335,716
営業利益	1,149,508	1,822,533
営業外収益		
受取利息	5,709	4,260
受取配当金	31,321	35,790
受取賃貸料	21,419	22,945
為替差益	22,935	72,244
その他	44,740	47,300
営業外収益合計	126,125	182,541
営業外費用		
支払利息	22,689	33,297
その他	12,437	25,040
営業外費用合計	35,126	58,338
経常利益	1,240,507	1,946,736
特別利益		
投資有価証券売却益	34,121	30,218
投資有価証券償還益	32,385	—
特別利益合計	66,506	30,218
税金等調整前四半期純利益	1,307,014	1,976,955
法人税等	387,663	716,191
四半期純利益	919,350	1,260,763
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△10,969
親会社株主に帰属する四半期純利益	919,350	1,271,733

（四半期連結包括利益計算書）  
（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日）
四半期純利益	919,350	1,260,763
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	144,479	279,465
為替換算調整勘定	△906,300	△37,765
退職給付に係る調整額	24,137	22,455
その他の包括利益合計	△737,683	264,155
四半期包括利益	181,667	1,524,919
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	181,667	1,534,536
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△9,617



（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、平成29年5月15日開催の取締役会決議に基づき、自己株式566,300株の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が694,739千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が704,542千円となっております。

（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しておりませんが、第1四半期連結会計期間より、Hydrodyne (India) Pvt. Ltd. 社株式の51%を取得したため、連結の範囲に含めております。また、第2四半期連結会計期間において、株式会社帝和エンジニアリングは、当社を存続会社とする吸収合併により解散したため、連結の範囲から除外しております。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間（自平成28年4月1日 至平成28年12月31日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ポンプ事業	電子部品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	11,682,193	1,695,190	13,377,384	334,918	13,712,302
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	11,682,193	1,695,190	13,377,384	334,918	13,712,302
セグメント利益	1,013,014	97,713	1,110,728	38,779	1,149,508

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、特殊機器、健康食品及び人材派遣事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,110,728
「その他」の区分の利益	38,779
四半期連結損益計算書の営業利益	1,149,508

## II 当第3四半期連結累計期間（自平成29年4月1日 至平成29年12月31日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ポンプ事業	電子部品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	13,552,957	1,560,146	15,113,103	358,104	15,471,208
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	13,552,957	1,560,146	15,113,103	358,104	15,471,208
セグメント利益	1,604,688	145,916	1,750,604	71,929	1,822,533

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、特殊機器、健康食品及び人材派遣事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,750,604
「その他」の区分の利益	71,929
四半期連結損益計算書の営業利益	1,822,533

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「ポンプ事業」セグメントにおいて、平成29年4月12日付でHydrodyne(India)Pvt. Ltd. 社株式の51%を取得したことから、のれんの金額に重要な変動が生じております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては886百万円であります。

## 3. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

## ① 生産実績

当第3四半期連結累計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)	前年同期比 (%)
ポンプ事業 (千円)	13,716,858	20.9
電子部品事業 (千円)	1,560,151	△8.0
報告セグメント計 (千円)	15,277,009	17.2
その他 (千円)	265,821	△0.8
合計 (千円)	15,542,831	16.8

(注) 1. 金額は、販売価格によっております。  
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## ② 受注状況

当第3四半期連結累計期間の受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高 (千円)	前年同期比 (%)	受注残高 (千円)	前年同期比 (%)
ポンプ事業	14,626,592	29.6	7,128,876	6.4
電子部品事業	1,548,806	△3.5	147,236	5.3
報告セグメント計	16,175,398	25.4	7,276,112	6.4
その他	395,777	8.7	106,864	△12.3
合計	16,571,175	25.0	7,382,977	6.1

(注) 1. 金額は、販売価格によっております。  
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## ③ 販売実績

当第3四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)	前年同期比 (%)
ポンプ事業 (千円)	13,552,957	16.0
電子部品事業 (千円)	1,560,146	△8.0
報告セグメント計 (千円)	15,113,103	13.0
その他 (千円)	358,104	6.9
合計 (千円)	15,471,208	12.8

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。